

ご説明資料

株式会社ゆうちょ銀行
平成24年12月14日

住宅ローンの信用コスト管理について

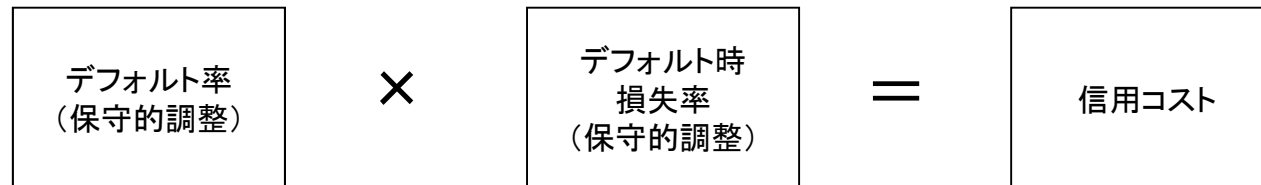
1 設定の考え方

- 信用コストは、デフォルト率（PD）、デフォルト時損失率（LGD）の実績率（媒介業務4年間）の平均をベースに計算し保守的な調整を加えた上で算出。
- 現在の保証料率で、デフォルト率の経年変化想定をカバーできる見込み。

2 重要指標の継続的なモニタリング

- PD、LGD等について保証会社のみならず、ゆうちょ銀行においてもモニタリングを行う。モニタリング結果を踏まえ、両者で協議を行い、必要に応じ、審査方針、保証料率等各種調整を行うことにより、信用コストを管理。

1 信用コストの計算



※デフォルト率: 期初の非デフォルト債権のうち年度内にデフォルト(代位弁済)した債権数の割合

※デフォルト時損失率: 代位弁済債権のうち回収が完了した債権の非回収額の割合

※保証料は、信用コストに経費率等を加えて計算

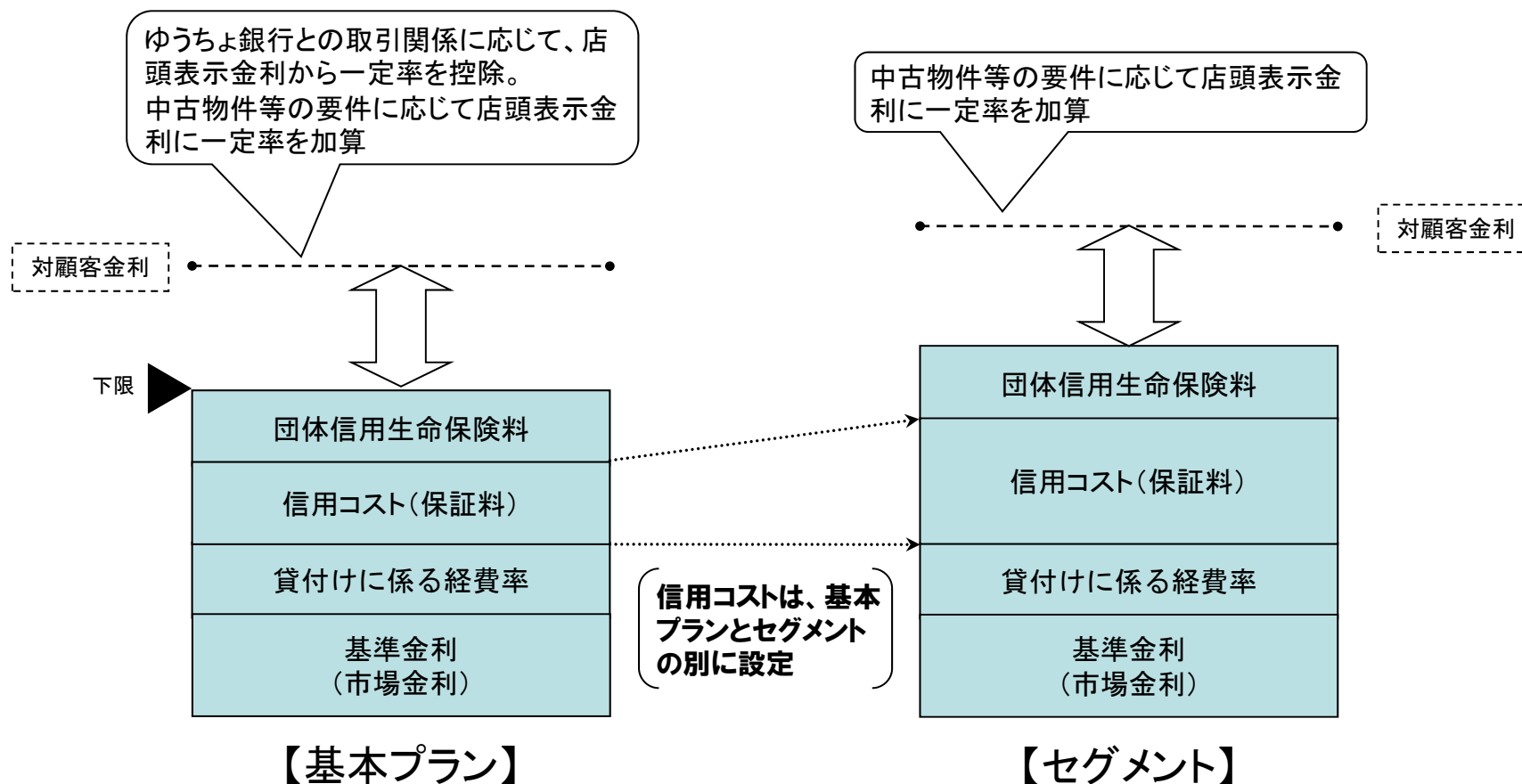
2 重要な管理すべき指標

- 年度別、商品別、経過年別、地域別等のデフォルト率
- 年度別、商品別、地域別、デフォルト年度別等のデフォルト時損失率 等

ゆうちょ銀行の貸出金利について

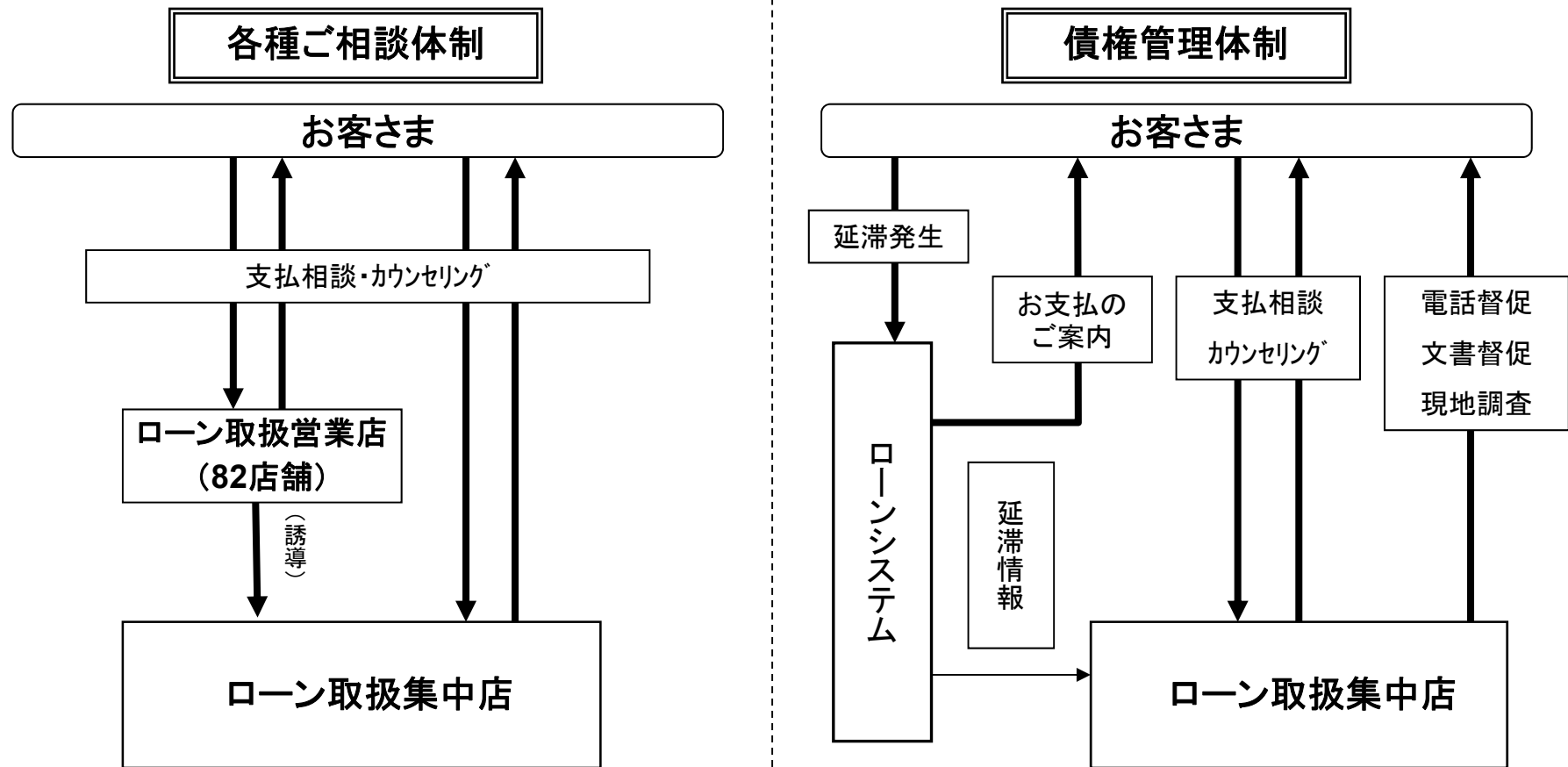
- 貸出金利においては、基準金利(市場金利)、貸付けに係る経費率、信用コスト等を確保する金利水準を設定(このルールは、優遇金利を設定する場合においても同じ。)
- 信用コストについては、セグメント商品・基本プランの別に信用コストを算出して設定。
- 新規業務開始後の金利に関しては、民営化委員会にもご報告申し上げたい。

【住宅ローンの金利構造】



債権管理態勢

- ローン取扱集中店に債権管理担当班を設置し対応。外部経験者・媒介業務にて債権管理業務を経験した社員を含め4人を配置(開始時)。お客さまからの支払相談に対し、カウンセリングを実施し、必要に応じて返済条件緩和措置等の金融円滑化対応を行う。(延滞発生時も同様)
- ローン取扱営業店(82店舗)においてもお客さまのご相談に真摯に応じつつ、必要に応じローン取扱集中店を案内。
- 延滞が継続した場合には、電話、文書による督促、現地調査を行い、延滞債権の回収を図る。



法人向け貸付け業務の審査について

- 既存のシローンや貸出債権のセカンダリ取得に係る業務であっても、十分な審査を行わなければならないのは当然。
 (参考) 金融検査マニュアル等においても、シローンの参加者は借入人の実態を適切に把握し融資判断を行うことを要請されている。

